

アカガイの放流について、下記内容で大阪府を通じて令和5年7月12日に報道提供を行いました。

**アカガイの稚貝5万個を大阪湾に放流
2年で漁獲サイズ（約150グラム）に育ちます！**

（公財）大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の魚介類資源を増やすため、キジハタやトラフグなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさにまで成長させて放流する「つくり育てる漁業(栽培漁業)」を推進しています。

このたび、アカガイの稚貝を下記により放流を行います。

記

- 1 放流対象種 アカガイ
- 2 放流個体数 5万個（殻長3センチメートル、重さ約7グラム）
- 3 放流日時及び放流場所
 令和5年7月19日（水曜日） 9時00分から 関西国際空港周辺海域
- 4 放流後の成長予測
 約2年で殻長8センチメートル（約150グラム）に成長し、漁獲対象のサイズとなる見込みです。



放流するアカガイ稚貝



アカガイ放流風景